

# 木 材 と 生 活

— 道政モニターの調査結果について —

## 林産振興課需要推進係

### ◎結果の概要について

#### ～木造住宅一戸建てに住みたい～

今後住みたい住宅としては、在来工法の木造一戸建てが最も多く、次いで、在来工法以外の木造一戸建て、鉄筋（骨）コンクリート一戸建て、分譲マンションの順となっています。

前回調査（昭和60年度）と比べると、在来工法と在来工法以外を合わせた木造一戸建てが増加しているのに対し、木造以外の一戸建ては減少し、木造志向が高まってきているにもかかわらず、近年の新設住宅着工数における木造率は低下しています。

#### ～住みごちが良いから木造住宅～

住宅を選ぶ理由としては、木造一戸建てでは住みごちを重視しているのに対し、木造以外の一戸建てでは耐久性を第1位にあげており、使用されている資材の特性の違いが端的に表れています。

また、木造一戸建てでは、間取りの自在性が第2位にあげられています。

#### ～床・壁・ドアには木を使いたい～

内装に使用したい資材では、床、壁、玄関ドアはいずれも木質系が最も好まれており、日常生活において木のぬくもりを取り入れたいという消費者ニーズが表れています。

窓枠は依然としてアルミサッシ指向がみられるものの、木製サッシの割合が増えてきており、木の良さに加えて断熱や結露防止など性能に対する認識も高まってきていることがうかがわれます。

#### ～高品質な木材を使いたい～

JAS規格品の使用については、指定するとい

う人が5割近くを占め、また、乾燥材についても、指定するという人が約7割を占め、より品質の高い製材品への関心の高さがうかがわれます。

#### ～公共施設にも木が好まれる～

公共施設における木質材料の使用方法については、木造・非木造にかかわらず、内装に木質材料を好むものが9割を占めています。

また、その使い方については、用途に応じ、他の素材との割合を考えた調和のとれた使い方とするものが7割弱を占めており、今後、単に量的な使用ではなく、デザイン性や他素材との調和を考慮した使用が重要となっています。

### ◎住宅について

#### ～どんな住宅に住んでいるか（図1）～

|         |       |
|---------|-------|
| 持家      | 74.9% |
| 借家      | 11.1  |
| 社宅などの住宅 | 11.8  |
| 借間      | 1.9   |

現在住んでいる住宅の形態については、「持家」が74.9%と最も多く、次いで、「社宅などの住宅」11.8%、「借家」11.1%となっています。

年代別の持家率は年代が高くなるほど増加する傾向がみられ、60歳以上が88.4%と最も高く、都市規模別では、人口10万未満の市が77.9%、町村76.8%、人口10万以上の市72.2%、札幌市68.9%の順で、都市規模が大きくなるほど持家率は低くなっています。

#### ～どんな構造の住宅か（図2）～

今回調査 前回調査

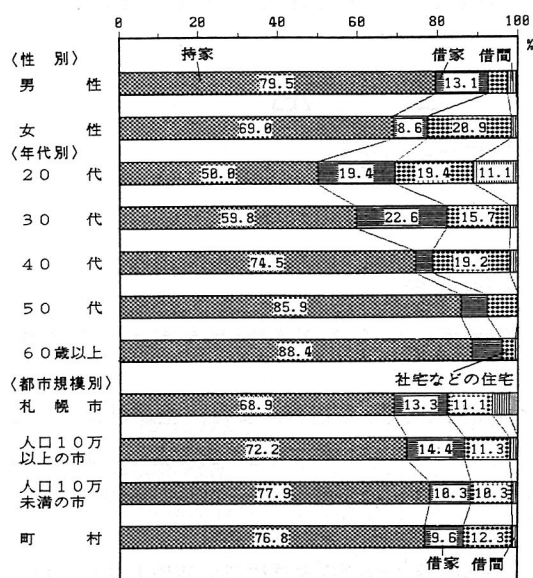


図1 現在住んでいる住宅形態 (所有区分別)

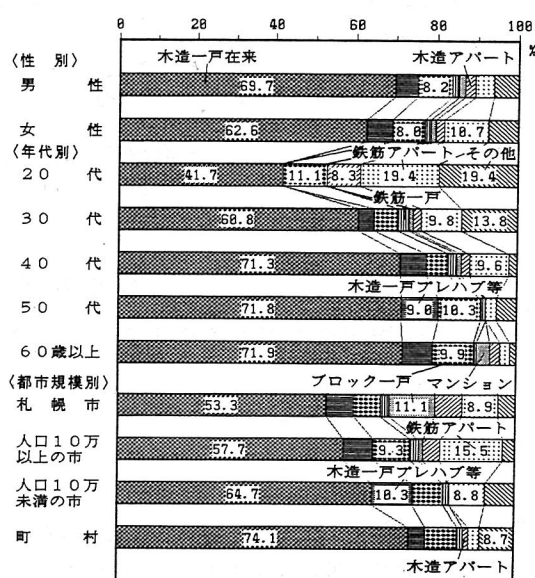


図2 現在住んでいる住宅形態 (構造別)

|                 |       |       |
|-----------------|-------|-------|
| 木造住宅 (在来工法)     | 66.6% | 66.8% |
| 木造住宅 (在来工法以外)   | 6.0   | 7.7   |
| ブロック住宅          | 8.1   | 7.3   |
| 鉄筋 (骨) コンクリート住宅 | 1.6   | 3.1   |
| 分譲マンション         | 1.4   | 0.9   |
| 木造アパート          | 2.3   | 2.6   |
| 鉄筋 (骨) アパート     | 7.2   | 4.6   |
| その他             | 6.3   | 6.9   |

現在住んでいる住宅については、「木造 (在来)」が66.6%と最も多く、以下「ブロック」8.1%、「鉄筋 (骨) アパート」7.2%、「木造住宅 (在来以外)」6.0%となっており、在来と在来以外を合わせた木造一戸建ては72.6%で、前回調査 (昭和60年度) とほぼ同率です。

年代別にみると木造一戸建ては持家率と同様に年代が高くなるほど増加し、都市規模別では町村が78.2%と最も高く、都市規模が大きくなるほど減少する傾向にあります。

～今後どんな住宅に住みたいか (図3, 表1)～

|                 | 今回調査  | 前回調査  |
|-----------------|-------|-------|
| 木造住宅 (在来工法)     | 46.6% | 44.3% |
| 木造住宅 (在来工法以外)   | 23.0  | 21.1  |
| ブロック住宅          | 6.0   | 8.8   |
| 鉄筋 (骨) コンクリート住宅 | 10.7  | 18.7  |

|             |     |     |
|-------------|-----|-----|
| 分譲マンション     | 7.0 | 4.0 |
| 木造アパート      | 0.7 | 0.2 |
| 鉄筋 (骨) アパート | 0.5 | 0.9 |
| その他         | 5.6 | 1.7 |

今後住みたい住宅については、「木造 (在来)」が46.6%と最も多く、次いで、「木造 (在来以外)」23.0%、「鉄筋 (骨) コンクリート」10.7%となっており、在来と在来以外を合わせた木造一戸建ては69.6%と前回調査と比較して4.2ポイント増加しましたが、「鉄筋 (骨) コンクリート」は8.0ポイント減少しました。

また、現在住んでいる住宅別に今後住みたい住宅をみると、現在住んでいる住宅と同様の住宅を希望する割合が50%以上のものは「木造 (在来)」57.1%、「木造 (在来以外)」50.0%、「分譲マンション」66.7%で、必ずしも現状の住宅形態に十分満足しているとはいえませんが、総じて木造一戸建てを希望する割合が高くなっています。

～その理由は (表2, 3)～

|              | 今回調査  | 前回調査  |
|--------------|-------|-------|
| 気候風土にあっているから | 27.4% | 34.6% |
| 住みごこちが良いから   | 48.3  | 37.4  |
| 健康に良いから      | 15.2  | 14.0  |
| 間取りが自由にできるから | 21.9  | 16.6  |

|          |      |      |           |      |      |
|----------|------|------|-----------|------|------|
| 耐久性が高いから | 14.4 | 25.5 | 増改築が容易だから | 14.4 | 18.0 |
| 耐火性が高いから | 5.5  | 9.2  | 省エネルギーだから | 9.7  | 11.3 |
| 気密性が高いから | 11.2 | 5.3  | 地震に強いから   | 1.7  | 4.8  |
| 価格が安いから  | 8.2  | 10.8 | その他       | 4.0  | 2.5  |
| 工期が短いから  | 1.0  | 1.4  |           |      |      |
| 外観が良いから  | 3.5  | 3.2  |           |      |      |

今後住みたい住宅を選ぶ理由については、「住みごち」48.3%が最も多く、以下、「気候風土」27.4%、「間取り」21.9%、「健康」15.2%の順となっています。

また、今後住みたい住宅別に選んだ理由をみると、「住みごち」を第1位にあげたのは、木造（在来）59.7%、木造（在来以外）49.5%、分譲マンション46.7%で、このほかに、「気候風土」を共通の理由としてあげていますが、木造（在来）は「間取り」、木造（在来以外）と分譲マンションは「気密性」を際立った理由としてあげています。

～使用したい内装材は～

○床について（図4）

|             | 今回調査  | 前回調査  |
|-------------|-------|-------|
| 木目の見える生地の木材 | 72.4% | 62.7% |
| 合板床板        | 23.0  | 29.6  |
| 塩化ビニールタイル   | 2.8   | 3.7   |

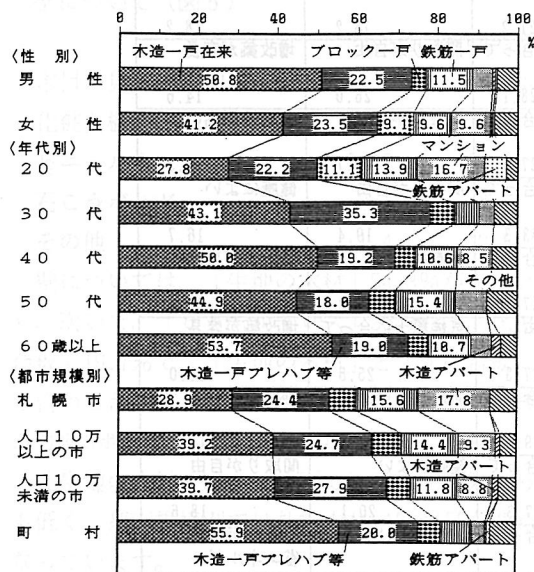


図3 今後住みたい住宅形態（構造別）

表1 現在住んでいる住宅別にみた今後住みたい住宅 (%)

|                   | 1位 (%)                | 2位 (%)             | 3位 (%)                | 4位 (%)                                 |
|-------------------|-----------------------|--------------------|-----------------------|--|
| 木造住宅一戸建て（在来工法）    | 木造一戸（在来）<br>57.1      | 木造一戸（在来以外）<br>18.5 | 鉄筋（骨）コンクリート一戸<br>10.5 | ブロック一戸<br>5.2                          |
| 木造住宅一戸建て（在来工法以外）  | 木造一戸（在来以外）<br>50.0    | 木造一戸（在来）<br>23.1   | 鉄筋（骨）コンクリート一戸<br>15.4 | その他<br>7.7                             |
| ブロック住宅一戸建て        | 木造一戸（在来以外）<br>31.4    | 木造一戸（在来）<br>22.9   | ブロック一戸<br>17.1        | 鉄筋（骨）コンクリート一戸<br>分譲マンション<br>その他<br>8.6 |
| 鉄筋（骨）コンクリート住宅一戸建て | 鉄筋（骨）コンクリート一戸<br>42.9 | その他<br>28.6        | 木造一戸（在来）<br>14.3      | 木造一戸（在来以外）<br>14.3                     |
| 分譲マンション           | 分譲マンション<br>66.7       | 木造一戸（在来）<br>16.7   | 木造一戸（在来以外）<br>16.7    |  |
| 木造アパート            | 木造一戸（在来以外）<br>30.0    | 分譲マンション<br>30.0    | ブロック一戸<br>20.0        | 鉄筋（骨）コンクリート一戸<br>木造アパート<br>10.0        |
| 鉄筋（骨）アパート         | 木造一戸（在来）<br>48.4      | 木造一戸（在来以外）<br>25.8 | 分譲マンション<br>16.1       | 鉄筋（骨）コンクリート一戸<br>6.5                   |
| その他               | 木造一戸（在来以外）<br>33.3    | その他<br>18.5        | 木造一戸（在来）<br>14.8      | 鉄筋（骨）コンクリート一戸<br>11.1                  |

表2 今後住みたい住宅を選ぶ理由 (%)

|       |             | 1 位              | 2 位                | 3 位                | 4 位                      |
|-------|-------------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 性別    | 男性          | 住みごこちが良い<br>49.6 | 気候風土に合っている<br>29.4 | 間取りが自由<br>22.8     | 増改築が容易<br>16.7           |
|       | 女性          | 住みごこちが良い<br>46.6 | 気候風土に合っている<br>24.7 | 間取りが自由<br>20.7     | 耐久性が高い<br>19.0           |
| 年齢別   | 20代         | 住みごこちが良い<br>51.5 | 耐久性が高い<br>21.2     | 間取りが自由<br>18.2     | 価格が安い<br>18.2            |
|       | 30代         | 住みごこちが良い<br>50.0 | 気候風土に合っている<br>28.1 | 間取りが自由<br>26.0     | 増改築が容易<br>14.6           |
|       | 40代         | 住みごこちが良い<br>43.2 | 気候風土に合っている<br>27.3 | 間取りが自由<br>22.7     | 気密性が高い<br>19.3           |
|       | 50代         | 住みごこちが良い<br>47.2 | 気候風土に合っている<br>33.3 | 間取りが自由<br>19.4     | 健康によい<br>16.7            |
|       | 60歳以上       | 住みごこちが良い<br>50.4 | 気候風土に合っている<br>27.4 | 健康によい<br>24.8      | 間取りが自由<br>20.4           |
| 職業別   | 自営業者及び家族従業員 | 住みごこちが良い<br>46.4 | 間取りが自由<br>27.3     | 気候風土に合っている<br>25.5 | 増改築が容易<br>20.0           |
|       | 勤め人         | 住みごこちが良い<br>53.1 | 気候風土に合っている<br>29.6 | 間取りが自由<br>22.4     | 価格が安い<br>14.3            |
|       | 無職          | 住みごこちが良い<br>46.9 | 気候風土に合っている<br>27.3 | 健康によい<br>20.1      | 間取りが自由<br>18.6           |
| 都市規模別 | 札幌市         | 住みごこちが良い<br>52.4 | 気候風土に合っている<br>31.0 | 健康によい<br>14.3      | 間取りが自由<br>省エネルギー<br>14.3 |
|       | 人口10万以上市    | 住みごこちが良い<br>37.0 | 気候風土に合っている<br>34.8 | 健康によい<br>19.6      | 耐久性が高い<br>18.5           |
|       | 人口10万未満市    | 住みごこちが良い<br>51.6 | 間取りが自由<br>21.9     | 気候風土に合っている<br>20.3 | 価格が安い<br>15.6            |
|       | 町村          | 住みごこちが良い<br>51.7 | 間取りが自由<br>27.1     | 気候風土に合っている<br>25.6 | 増改築が容易<br>17.7           |

表3 今後住みたい住宅形態別選んだ理由 (%)

|                       | 1 位              | 2 位                | 3 位                | 4 位                |
|-----------------------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 木造住宅一戸建て<br>(在来工法)    | 住みごこちが良い<br>59.7 | 間取りが自由<br>33.8     | 気候風土にあっている<br>23.9 | 健康によい<br>22.4      |
| 木造住宅一戸建て<br>(在来工法以外)  | 住みごこちが良い<br>49.5 | 気候風土にあっている<br>36.4 | 気密性が高い<br>19.2     | 間取りが自由<br>17.2     |
| ブロック住宅<br>一戸建て        | 耐久性が高い<br>34.6   | 耐火性が高い<br>30.8     | 住みごこちが良い<br>30.8   | 気候風土にあっている<br>26.9 |
| 鉄筋(骨)コンクリート<br>住宅一戸建て | 耐久性が高い<br>56.5   | 省エネルギー<br>28.3     | 気候風土にあっている<br>23.9 | 耐火性が高い<br>23.9     |
| 分譲マンション               | 住みごこちが良い<br>46.7 | 気密性が高い<br>26.7     | 気候風土にあっている<br>20.0 | 省エネルギー<br>16.7     |

その他 1.9 4.0  
床については、「生地の木材」72.4%が最も高く、次いで、「合板床板」23.0%となっており、これらを合わせた木質系床板は95.4%です。

性別では、「生地の木材」は女性が、「合板床板」は男性が多くなっています。

○壁について (図5)

|             | 今回調査  | 前回調査  |
|-------------|-------|-------|
| 木目の見える生地の木材 | 54.3% | 54.5% |
| 化粧合板        | 19.7  | 22.4  |
| ビニールクロス     | 20.7  | 17.0  |
| 石こうボード      | 3.3   | 3.4   |
| その他         | 1.4   | 2.8   |

壁については、「生地の木材」54.3%が最も高く、次いで、「ビニールクロス」20.7%、「化粧合板」19.7%で、「生地の木材」と「化粧合板」を合わせた木質系壁材は74.0%ですが、前回調査より2.9ポイント減少しました。

「生地の木材」は、年代別では20代38.9%が最も低く、都市規模別では札幌市44.4%が最も低くなっています。

○窓枠について (図6)

|       | 今回調査  | 前回調査  |
|-------|-------|-------|
| 木製サッシ | 29.5% | 17.4% |

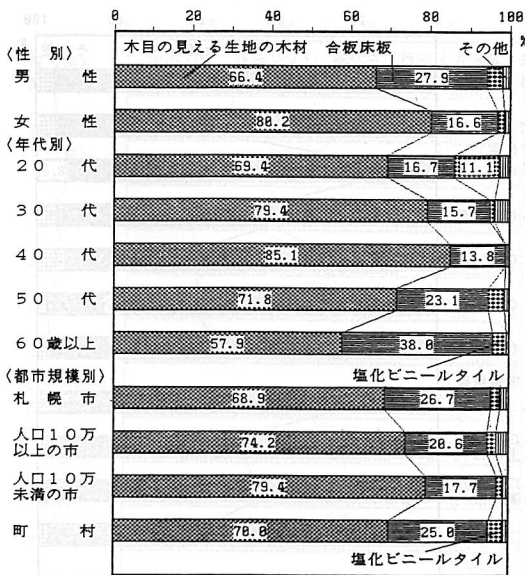


図4 床に使用したい建築資材

|           |      |      |
|-----------|------|------|
| プラスチックサッシ | 18.1 | 19.6 |
| アルミサッシ    | 50.6 | 61.6 |
| その他       | 1.1  | 1.4  |

窓枠については、「アルミサッシ」50.6%が最も高く、以下、「木製サッシ」29.5%、「プラスチックサッシ」18.1%となっていますが、前回調査と比較すると、「木製サッシ」は12.1ポイント増加していますが、逆に「アルミサッシ」は11.0ポイント減少しています。

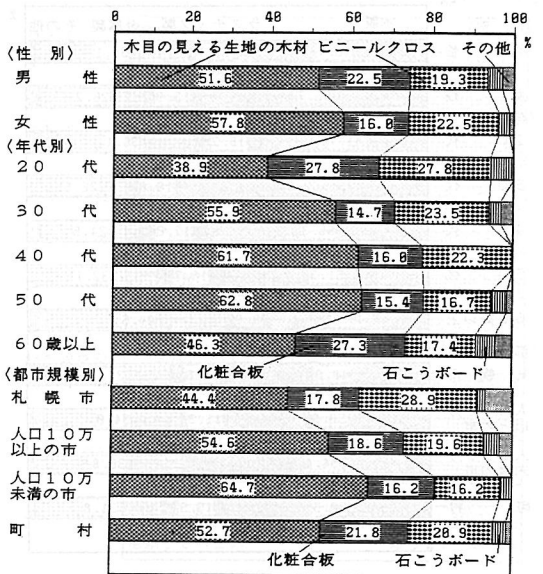


図5 壁に使用したい建築資材

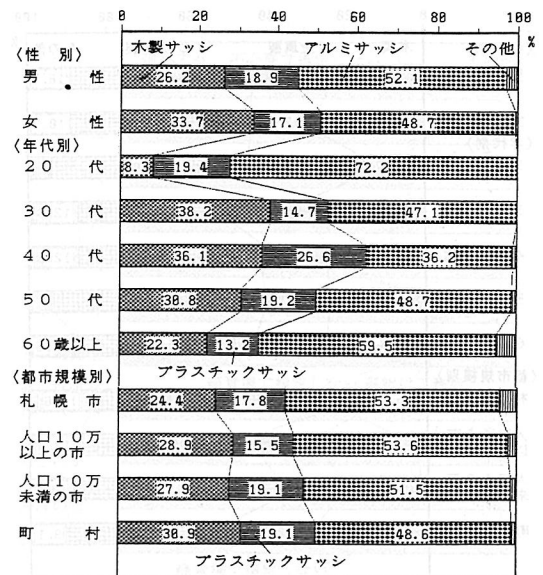


図6 窓枠に使用したい建築資材

○玄関ドアについて (図7)

|         | 今回調査  | 前回調査  |
|---------|-------|-------|
| 木製      | 51.0% | 46.6% |
| プラスチック製 | 13.5  | 12.7  |
| 金属製     | 33.0  | 39.5  |
| その他     | 1.9   | 1.2   |

玄関ドアについては、「木製」51.0%、「金属製」33.0%、「プラスチック製」13.5%の順となっ

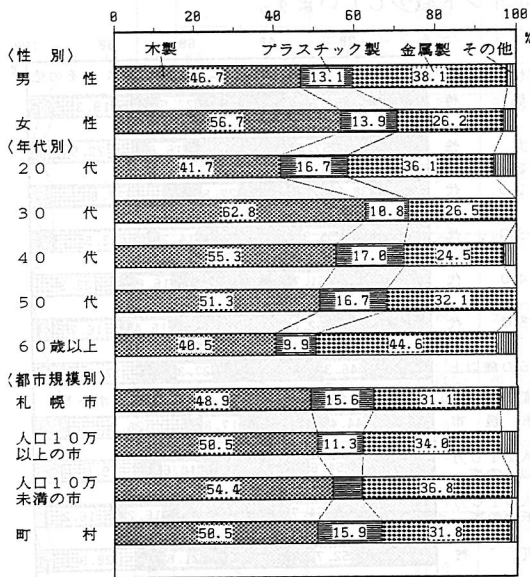


図7 玄関ドアに使用したい建築資材

ており、前回調査と比較すると「木製」は4.4ポイント増加し、「金属製」は6.5ポイント減少しています。

～住宅の外回りはどんなものがよいか～

○門扉について (図8)

|       | 今回調査  | 前回調査  |
|-------|-------|-------|
| 木製    | 25.1% | 18.2% |
| 金属製   | 18.8  | 16.8  |
| ブロック製 | 45.5  | 53.2  |
| その他   | 10.0  | 11.6  |

門扉については、「ブロック製」45.5%が最も高く、次いで、「木製」25.1%、「金属製」18.8%となっていますが、前回調査と比較すると、「ブロック製」が7.7ポイント減少し、逆に「木製」が6.9ポイント増加しその差が縮まりました。

都市規模別では、「木製」は札幌市15.6%が最も低く、「ブロック製」は札幌市60.0%が最も高くなっています。

○物置について (図9)

|     | 今回調査  | 前回調査  |
|-----|-------|-------|
| 木製  | 50.8% | 51.9% |
| 金属製 | 44.3  | 42.8  |
| その他 | 4.2   | 4.9   |

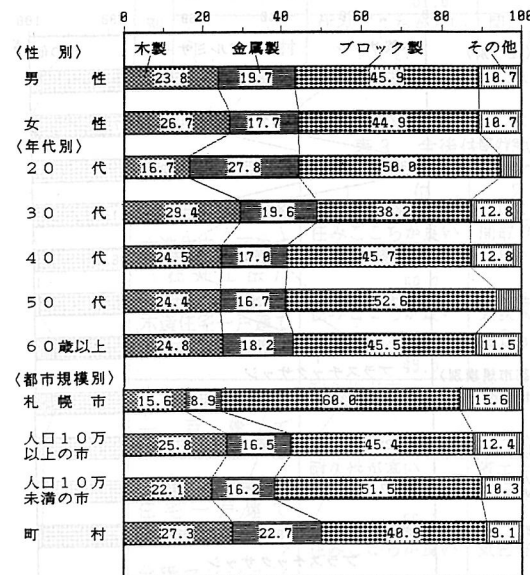


図8 門扉に使用したい資材

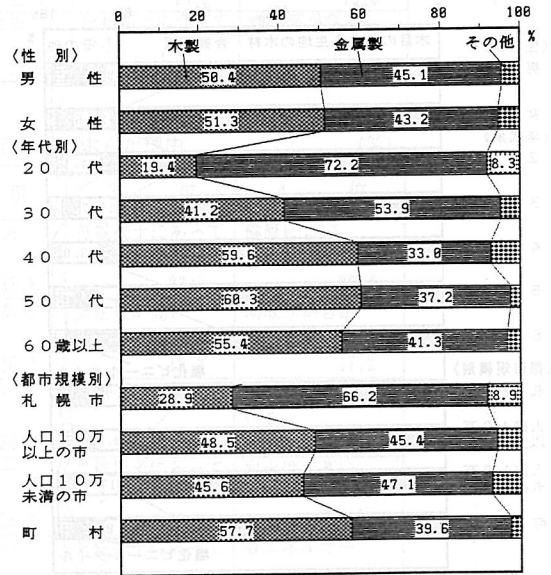


図9 物置に使用したい資材

物置については、「木製」が50.8%、「金属製」が44.3%となっています。

前回調査と比較すると、「木製」が1.1ポイント減少し、「金属製」が1.5ポイント増加しています。

◎日本農林規格（JAS）について

～JAS製品を指定するか（図10）～

|            |       |
|------------|-------|
| 指定する       | 47.3% |
| 指定しない      | 4.6   |
| 選択は工務店に任せる | 35.3  |
| わからない      | 10.2  |
| その他        | 2.3   |

木造住宅を建築する際、JAS製品を指定するのかわについては、「指定する」47.3%が最も高く、以下、「工務店に任せる」35.3%、「わからない」10.2%となっています。

年代別にみると、「指定する」は50代が60.3%と最も高く、20代が27.8%と最も低くなっています。

～指定しない理由（図11）～

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 信頼していない         | 11.5% |
| JAS製品を超える優良材が流通 | 15.4  |
| JAS製品でなくとも十分な品質 | 53.8  |

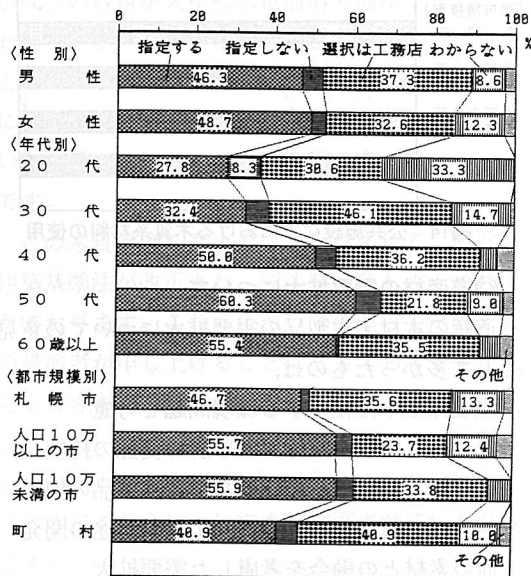


図10 JAS製品の指定度

|      |      |
|------|------|
| 知らない | 7.7  |
| その他  | 11.5 |

指定しない理由については、「十分な品質」が53.8%と最も高く、以下、「優良材が流通」15.4%、「信頼していない」11.5%となっています。

～乾燥材を指定するか（図12）～

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 指定する            | 68.9% |
| 建築費が高くなるので指定しない | 2.1   |

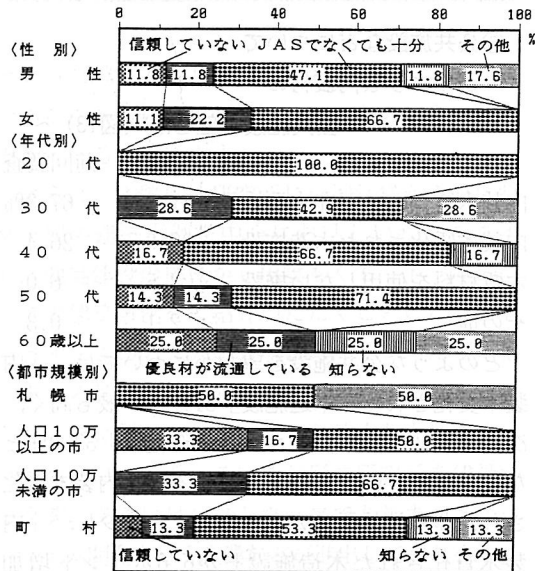


図11 JAS製品を指定しない理由

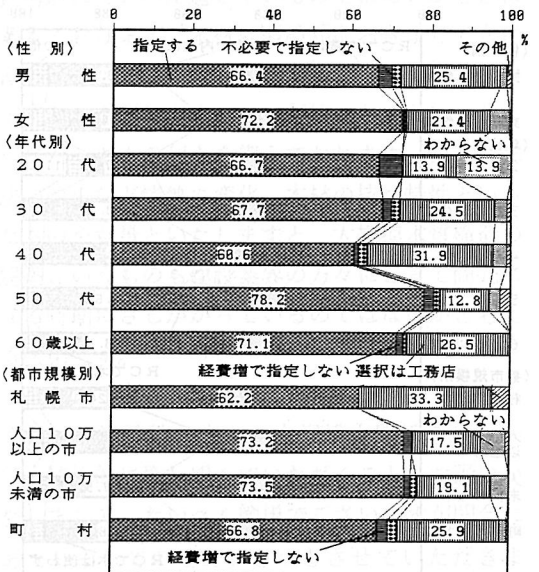


図12 乾燥材使用の工務店への指定度

|                 |      |
|-----------------|------|
| 必要性を感じないので指定しない | 1.4  |
| 選択は工務店にまかせる     | 23.7 |
| わからない           | 3.0  |
| その他             | 0.9  |

適正な乾燥材の指定については、「指定する」68.9%が最も高く、次いで、「工務店に任せる」23.7%となっています。なお、指定しないとするものは3.5%にすぎません。

◎公共施設などについて

～どのような内装材の

公共施設を望むか (図13) ～

|               | 今回調査  | 前回調査  |
|---------------|-------|-------|
| 内装木質化された非木造施設 | 61.0% | 67.3% |
| 内装木質化された木造施設  | 33.0  | 26.4  |
| 木質材料を使用しない施設  | 3.5   | 6.0   |
| その他           | 2.1   | 0.3   |

どのような公共施設を望むかについては、「内装木質化された非木造施設」61.0%が最も高く、次いで、「内装木質化された木造施設」33.0%となっており、前回調査と比較すると「内装木質化された非木造施設」が6.3ポイント減少し、「内装木質化された木造施設」が6.6ポイント増加し、その差が縮まりました。

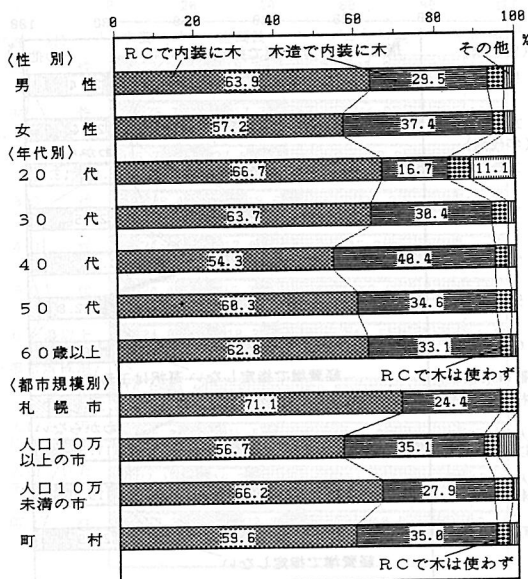


図13 公共施設に使用したら良い建業内装資材

性別では非木造施設は男性が多く、木造施設は女性が多くなっており、都市規模別では非木造施設は札幌市が71.1%と最も高くなっています。

～木質系材料の使用について (図14) ～

|                |       |
|----------------|-------|
| 今後も積極的にすすめる    | 31.8% |
| 他の素材との調和を考えた使用 | 65.9  |
| 極力使用はひかえる      | 1.4   |
| その他            | 0.7   |

公共施設などにおける木質系材料の使用に対する感想については、「他の素材との調和を考えた使用」が65.9%と最も高く、次いで、「今後も積極的にすすめる」31.8%となっています。

性別では、「他の素材との調和を考えた使用」は女性が多く、「今後も積極的にすすめる」は男性が多くなっています。

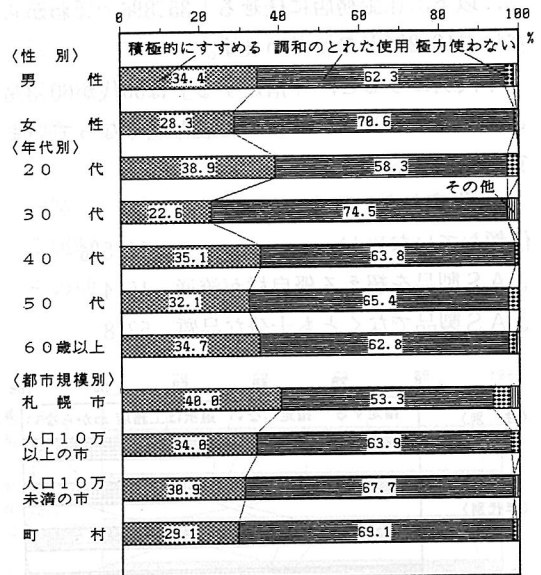


図14 公共施設などにおける木質系材料の使用

◎道産材の需要拡大について

道産の木材・木製品の需要拡大についての意見として多かったものは、

- ・環境保全や複雑化する環境問題を考慮
- ・計画的な植栽、伐採による森林資源の持続
- ・公共施設における積極的な道産木製品の使用
- ・ニーズに対応した品質の向上、新用途の開発
- ・他の素材との融合を考慮した需要拡大などがあげられます。